

NO	意見	回答（案）
1	ジェンダーを平等にというゴール目標に対して、『女性及び女兒』のみに言及することは不平等になる。性別による別け隔てがなくなる事が目標ではないか。	2015年9月25日開催の第70回国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中の目標のひとつで、「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女兒の能力強化を行う」があります。これは、国連で採択されたものとなりますので、そのままの表記としています。外務省のホームページに英文の仮訳がありますのでご参照ください。https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000101402.pdf  本市におけるSDGsのゴールの意味としては、女性に限らないジェンダーの平等を意味していますので、P46にあります「ターゲット（達成目標）の例」については、文言の修正をいたします。
2	P21の第4章_第1節エネルギー 限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換 2、指標_市域の年間温室効果ガス排出量の目標値（下記） 2020年度1990年度比25%削減で1,315千t-CO2 2028年度1990年度比38%削減で1,092千t-CO2 *3.11の影響で原発が減り、排出係数が上がり、達成できない状況です。 提案です。パリ協定の温暖化を1.5度を目指すとの有りますので、目標は良いと思います。 目標を達成する手段（根拠）についても記載して欲しい。 （目標を達成するのは、吹田市として、規制してもやるべき事と思うので提案しています） 以上ご検討の程よろしくお願ひします。	エネルギー消費量は、バックキャスティングで目標を立てていますので、現時点でお示しできる根拠はありません。 なお、目標達成へのロードマップについては、来年に改定を行う予定の「吹田市第2次地球温暖化対策新実行計画」において検討したいと考えています。
3	望ましい環境像、みどりと水・光と風で生物多様性の保全を挙げているが、分野別基本目標に書かれていない。自然環境の保全はあるが、ここで生物多様性の保全を挙げるべきである。  分野横断的戦略2：「まもる」 ①生物多様性の保全に係る啓発活動が挙げられているが、啓発だけで保全活動は行わないのでしょうか。  (2) ヒートアイランド対策 みどりのカーテンだけでヒートアイランド対策になるとは考えられない。もっと、大規模な緑地を形成する必要があるのではないのでしょうか。  希少種の保全数 アイナエが抜けている。また、これだけでなく吹田市内でレッドリストを作成し、それに基づいて、保全すべきである。もっと多くの種があるはず。  (1) 近隣自治体（能勢町）との連携 能勢町だけなのかもっと多くの自治体と連携すべきではないのでしょうか。  ①基本計画の中に生物多様性の保全があげられていますが、まず、吹田市にどんな生物がいるかどんな生態系があるか博する必要があるのでないのでしょうか。②近隣自治体などを含めた広域で考えることはもちろん必要ですが、吹田市内の生物多様性地域戦略を創ることが先決ではないのでしょうか。広域で創ろうとしても足並みが揃わなければいつまで経ってもできません。吹田市は次々に開発計画があり、早急に対処しないと保全する前になくなってしまいます。 生物多様性地域戦略の策定も環境基本計画に入れるべきです。	<生物多様性保全について> 本市のみどり・自然共生分野の目標において、「自然の恵みが実感できる」としており、御指摘のとおり「生物多様性の保全」の方が適していると考えますので、変更します。  生物多様性の保全の手段として、啓発だけでなく、特定外来生物の防除活動等に取り組みます。  <ヒートアイランド対策について> 本市では、ヒートアイランド対策として、高反射性塗料や透水性舗装等の建物・道路・駐車場等の高温抑制を推進し、みどりのカーテンのみではなく、屋上緑化・壁面緑化等も推進します。また、環境まちづくりガイドライン等により、開発業者にヒートアイランド対策等の環境に配慮した開発を行うように働きかけを行っています。  <希少種の保全数について> 環境部で発行している「すいたの自然2011」に、アイナエの記述はなく、また「吹田市第2次みどりの基本計画（改訂版）」においては、市民が保全活動をしている希少種4種を指標としています。これらのことを踏まえ、「吹田市第2次みどりの基本計画（改訂版）」との整合性を図る観点から、指標を設定しています。今後の2021年度版の「すいたの自然」の発行に向けた調査において精査を行い、必要に応じて改訂時に指標等の見直しを行います。  <近隣自治体との連携> まずは能勢町との連携において、地域循環共生圏のモデル構築を図った上で、北摂地域等の他の自治体との連携につなげていきたいと考えています。  <生物多様性地域戦略について> ①前述のとおり、2021年度版の「すいたの自然」の発行に向けた調査を行う中で把握に努めます。 ②吹田市独自の戦略策定は、現時点では考えておりませんが、環境まちづくりガイドラインを用いた開発誘導や新たに盛り込む予定である特定外来生物の防除活動やイベントの実施等の啓発活動において、生物多様性の保全に取り組んでいきます。